

# 天ヶ瀬ダムワーク（1）にゆーす

発行/「天ヶ瀬ダムワークファシリテーターズ」

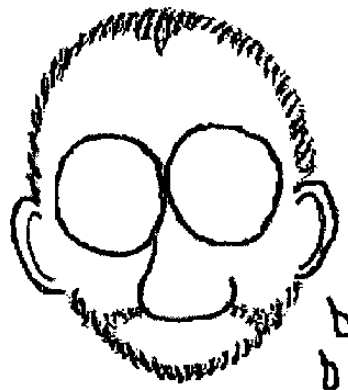
平成15年12月21日（日）第1回「天ヶ瀬ダムワーク（1）」が開催されました。

「天ヶ瀬ダムワーク（1）」は、今後、みんなで天ヶ瀬ダムを検討するにあたり、その基礎資料となる“住民意見を広く吸収して、天ヶ瀬ダムのあり方についての項目づくり”を旨とするために始めました。

「天ヶ瀬ダムワーク（1）」第1回をふりかえって久保田先生からのメッセージです。

これまでの行政が行なう公共事業についての討論会は、どちらかというと行政の一方的な説明が多く、また、参加する住民も、一部の人が話すだけのことが多かったような気がします。初めて出会う住民同士が話し合うことはあまりありませんでした。今回は、住民同士が話し合う場なので、何がこれまでと違うかということ、初めて会う人たちがリラックスして話しあったり、住民同士が知恵を出し合う可能性があることなどです。そのために少人数のグループに分かれていただき、グループごとに進行役（ファシリテーター）がついています。また、話し合いを円滑に進めるためのルールとして、「知りあう」「リラックス」「つぶやく」「聞きあう」「批判しない」というお願いをさせていただきました。知りあい、リラックスするために、自己紹介シートをお願いし、旗上げアンケートもさせていただきました。

今回の参加者の方々は、天ヶ瀬ダムに関して上流側、ダムの現状、環境、施策、治水、コスト、すすめ方、景観、まちづくり、山の環境、治水被害対策、全体調整、放流の方法、利水(水位)川・湖への向き合い方(目標)びわ湖の生



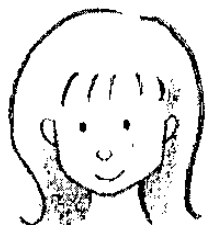
ファシリテーター久保田先生

態系等様々なご意見をお持ちの方々です。話し合いの時間が不足してしまった第1回目の振り返りでは、様々な気づきや驚きがあったようです。一人一人の思いも多様な結果となりました。皆様の協力で様々なご意見が出され、とてもよいスタートになったのではないのでしょうかと考えています。今後、参加者の方々が意見や情報を交換しあい、行政に対しても、より効果的な働きかけができる可能性があります。その小さな一歩が踏み出せたと感じていただければ幸いです。

ワークショップで何が得られるのでしょうか。国土交通省としては、「今後の調査検討のための参考にする」ことが念頭にあるようです。どの程度参考にしていただけるかは、今後の協働作業にかかっていると感じています。

もちろん本来ならば行政担当者も一緒に話し合いができれば、これに越したことはありません。その可能性は今後追求していきたいと思います。

ワークショップという会議の性質上、傍聴者の方々が話を聞きにくい点があったと思います。どうかお許しください。全ての道は一歩から。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



まるいちチーム

進行・調整役 横山さん



チーム1500t

進行・調整役 寺川さん

「天ヶ瀬ダムワーク（1）」は、計画の内容を見直す事となっている河川整備計画基礎原案の調査検討を行うにあたって、皆様の意見を計画に最大限に尊重する意見収集のための討論会です。

## 現状

上流側	ダム現状	環境
天井川で浸水する	山崩れで道が閉鎖されている	環境がよい 宇治橋上流
浸水する場所に家が建っている	天ヶ瀬ダムは安全ではない（岩盤にたよっている）	うかいは今年 は出なかった？
内水対策を行ってきた	天ヶ瀬ダムは 今でも安全か 地震災害	
景観が壊れている	天ヶ瀬ダムの 堆砂？	琵琶湖周辺の 方々の意見を もっと聞きたい
浸水被害（琵琶湖）	天ヶ瀬ダムは 改修は不可能か	他の方策を単純に×としている。○か×という発想
内水排除も充分でない		「琵琶湖総合開発」実は途中から利水に変わった
洪水時間が長い		滋賀県と下流の両立する対策は？
琵琶湖ポンプの無いところあり		国交省の説明の元になるデータが打ちあがっていない
琵琶湖水害減		国交省は実はお手上げでは。
琵琶湖水位の上昇に伴う対策。天ヶ瀬一本では無理		
敷賀湾または若狭湾への放流について		

## 問題点

治水					コスト
琵琶湖水位上昇時の対応？	水害の危険性に段階（レベル）がある（補助的な意見）	水害は100%防がなければならないのか？	琵琶湖周辺の浸水被害の対策はいかにあるべきか？	1500%/秒 放流のリスク	直轄負担金を京都府が負担するのか 滋賀のために京都府がお金を出すことは問題 1500放流すると金がかかる施設補強 即流下（流下時間の短縮）
丹生ダム、大戸川ダム建設について	山が荒れて保水能力低下	浸水被害の特徴をはっきりさせる	琵琶湖の水位放流方式だけに眼をむけると、下流と対立する	役所が完全に守ることが正しいとは言えない。	
琵琶湖周辺の浸水被害の特徴？	川のことしか考えない山、利水	天ヶ瀬1500%放流に下流はたえられるか？	浸水被害は琵琶湖の水位操作で行なうのが良いか	琵琶湖完了か	
環境保全か治水か	開発が多い	マキ島などパイピングは起こらないか1500%/秒 放流で	早く流せば溢れ被害が軽減するか？技術的にきちんと対応を	ダムの耐用年数は？	
天ヶ瀬ダムにより内水対策を行なうことが正しいのか？	開発問題もリンクする	堤防の漏水対策→新たな環境破壊	積島堤防の漏水	砂でできた堤防は安全でないのではないか	

理想の姿

**国交省の制度的限界** 他省庁、自治体、住民の協同なしには無理

**総合治水** 分水、遊水池、上流

日本海に水を放流する

治水、利水、環境保全、等総合的対策を

ゴルフ場を減らす

山の保全 山へ目を向けるべき

住まない場所などを決める

歩行者専用道をつくる。(シズ川付近)

日本海側への放流と大阪側への放流との考え方

観光立市 宇治

美しい景観でつくるべき

国家100年の計を考へるべき、放流を大阪のみとせず日本海へ

調査結果公開 トンネル、ダム基礎、岩盤、地質も

塔の島、亀石付近、いったん元に戻せ

ダムが決壊しても安全である環境づくり

安全な環境づくり

1500トンの安全な放下

一時も早い放流方策

真水の資料を公開してほしい、計算結果だけでなく

魚の遡上に問題あり

うかいは楽しめる

**山の環境**

**まちづくり**

**景観**

人工的河川でよいか NO

魚の遡上に問題あり

うかいは楽しめる

治水対策のあり方は何か(土砂流、本流)

乱開発されすぎ(浸水する所に)

法的規制 乱開発

「重厚長大」方式の限界

長少短軍の治水を一環境を守る一住民の合意が必要

**景観**

仕切堤は環境に悪影響を出している

塔の島の締切堤

破壊された自然環境はどう修復するのが半治橋周辺

仕切堤は景観が悪くなっている

下流、塔の島付近、破壊

背景を含めた検討が必要

**すすめ方**

施設に対する月日がかかりすぎる

代替案の検討が不十分

現状の自然を最大限保全するためには? 第三者の評価

上流と下流の対峙をどう考えるか

個別委員会は頼れるか?

琵琶湖の内水対策に京都府の負担とは?

天ヶ瀬ダムの発電は必要か? 金と重要性の問題

トンネルの地盤の安全性

住民参加、ex 会長などを集めても駄目だった(例えば、塔の島)

S46年の基準(合意)を見直し

下流の自治体の背景をそのままする理解

総合的に考えるべきである

国交省はもっと正直に、お手上げならそう言え

本当の見直しを。S46年以前に戻って

整備計画を急ぐな

「整備計画」でるのが

**まちづくり**

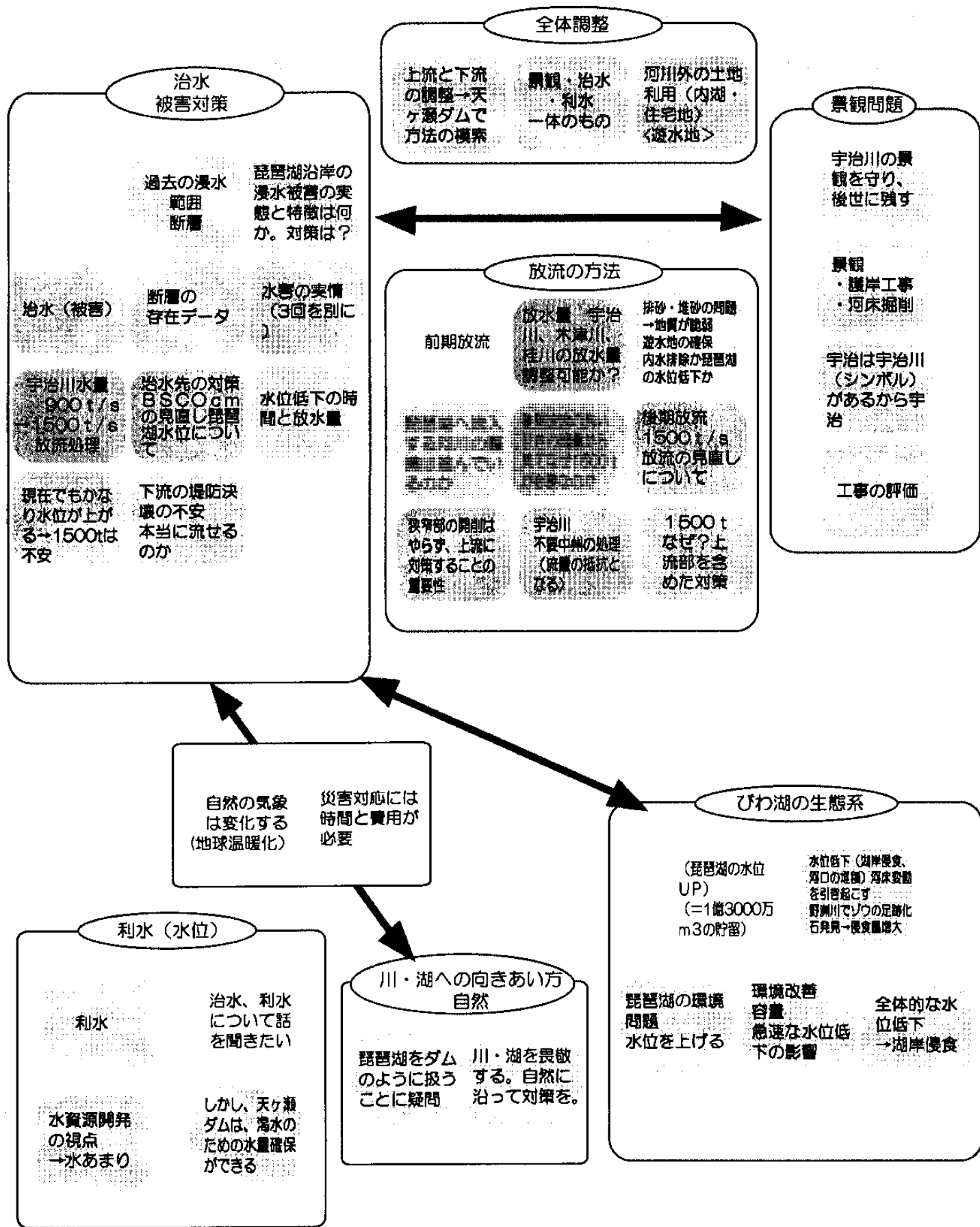
宇治にぎわいがなくなっている

住民の判断のためには全てが公開されなくてはダメ

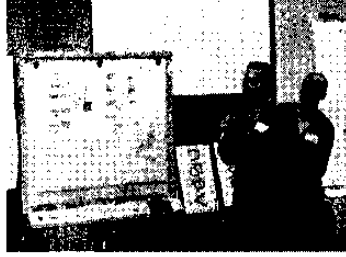
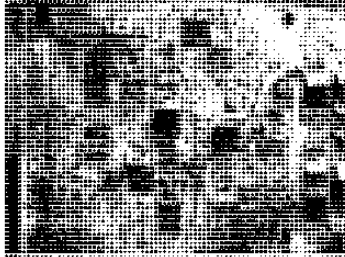
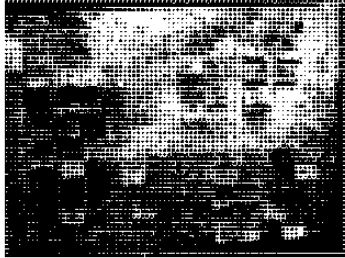
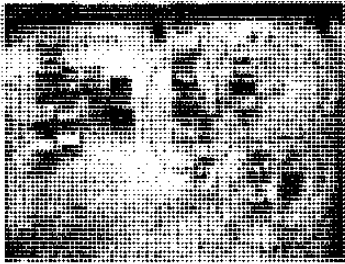
うかいが楽しめなくなった

車優先の道路づくりが問題

ダム下流左岸道路→2車線化



## まるいち チーム



## 全体報告

報告者： 植村 敏和

### 現状

- ◎天ヶ瀬ダムは安全なのか？上流は、山崩れが起こっている。岩盤は、大丈夫か。
- ◎宇治橋上流は、環境がいいけれども、宇治橋下流は、大きな堤防があり環境が良くない。

### 問題

- ◎上流側で水量を調整据えるには丹生ダムや大戸川ダムが必要。
  - ◎山の保水力を考えなくてはいけない。
  - ◎1500t放流のリスク数字の一人歩きではないか。
  - ◎京都府のお金を滋賀県に使うのか。
  - ◎代替案の検討が不十分ではないか。
  - ◎上下流の対立がないのか。
  - ◎宇治市のまちづくりについても考えるべきである。
  - ◎乱開発されすぎている。
- 理想の姿。
- ◎自然破壊の根本的なところを考えるべきである。
  - ◎日本海側に放流する発想もある。
  - ◎今後のことを考えてすべてを考える。
  - ◎宇治が宇治らしい観光施策を考えるべきである。

## グループ進行役から

第1回目は、模造紙3枚になるほどたくさんのお話を聞かせていただきました。  
第2回目は、このたくさんのお話をいくつかに分かれたテーマごとに皆さんで議論していきたいと考えています。それと同時に、上流側の状況ももっと、いろいろ知りたいと思っています。

## チーム 1500t!



## 全体報告

報告者： 梅原 孝

- ◎治水・景観・環境についての発言があった。
- ◎利水について発言がなかった。
- ◎1500t放流について議論になった。
- ◎前期放流と後期放流のそれぞれの問題点を明確にして議論を進めていくべきである。
- ◎そこから起こっている問題について例えば、塔の島景観について考えていく必要がある。
- ◎黄槩断層だけでなく、最近発見された断層が、天ヶ瀬ダムが通っているのではないか。これについても、もう一度考えるべきである。
- ◎上流下流それぞれ理解しながら議論するべきである。
- ◎下流の洪水対策には、大戸川ダムが有効であるのではないか。
- ◎琵琶湖の浸水対策には、1500放流が必要ではないか。
- ◎渇水対策や急激な水位の低下には、天ヶ瀬ダムが有効ではないかという意見が出た。

## グループ進行役から

熱心な討論をありがとうございました。  
出していただいたテーマは多岐にわたり、またかなり専門的な内容も含まれていますので、次回は少し論点を整理しながら、さらに対話を深めていきたいと思っています。

## 旗揚げアンケート

参加者の“こころほぐし”におこなった旗揚げアンケートの結果です。意識が積極派が多い会はなかなか少ないと久保田先生もびっくりでした。

どちらにお住まいですか？

1. 天ヶ瀬ダムの上流に住んでいる人 ( 2人)
2. 天ヶ瀬ダムの下流に住んでいる人 (10人)
3. どちらでもない ( 0人)

どの時代を重要視していますか？

1. 過去 ( 0人)
2. 現在 ( 6人)
3. 未来 (10人)

あなたの意識はどうですか？

1. 積極派である ( 7人)
2. 慎重派である ( 5人)
3. 現状維持派である ( 0人)
4. 無関心派である ( 0人)
5. その他 ( 0人)

今回の参加で考えていることは？

1. 話をいっぱいしたい ( 7人)
2. 話をいっぱい聞きたい ( 6人)
3. じっくり考えたい ( 4人)
4. ダムの情報を得たい ( 5人)
5. その他 ( 0人)

あなたの川についての関心は？

1. 利水 ( 3人)
2. 治水 ( 8人)
3. 環境 ( 2人)
4. 景観 ( 3人)
5. その他 ( 0人)

利水に挙げた人にインタビュー

・農業に携わるので、利水に非常に関心が高い。

環境に挙げた人にインタビュー

・川全体という考え方なら環境という視点が必要である。



## ふりかえりシート

参加者みなさんの“ふりかえりシート”の内容です。



☆ 私が気づいたのは、

- ・計画、データの説明提供不足。
- ・“1500t/sが前期放流、後期放流とも区別されないで提言されていたこと。”
- ・水の流量変化は数日の問題だが、環境変化ととらえれば数十年、数百年の問題である。
- ・多くの意見が出てよかったと思う。
- ・多くの方が参加していた。
- ・いろいろの問題。
- ・広くご意見を聞いていただき感謝します。

☆ 私が、驚いたのは、

- ・後期放流問題は琵琶湖岸の浸水対策と聞いていたが、渇水対策にもなると聞いたこと。
- ・多数参加されて多方面の意見が出たので、非常に参考になった。
- ・ワークショップの運営について初体験であった。
- ・皆さんが積極的に発言されたことは、びっくりしたがうれしかった。
- ・知らないことの多いこと。
- ・討論参加より傍聴が多かったこと。
- ・皆さん大変天ヶ瀬ダム放流1500t/sについて感心を示された。

☆ 私が、うれしかったのは、

- ・皆さんがよく勉強されていること。
- ・国交省がこういった場を用意してくれたこと。
- ・宇治川関係1500t/sについて深く意見を交えたこと。
- ・皆さんが熱心に討論された。
- ・様々な観点からの意見が聞けた。
- ・いろんなテーマで話し合いをしても良いというのはありがたいと思った。
- ・いろいろと知れたこと。
- ・自由に発言・意見を述べられた(気軽に)。

☆ 私があがりしたのは、

- ・治水について特に詳しい方がいられないようであること。
- ・“上流の人の参加が少なかったこと。”
- ・市民の方の参加が少なかったこと。
- ・別になし。
- ・“まとめとは難しいものである。”
- ・私の発言の主旨がまとめの人に、よく理解されていなかった。
- ・琵琶湖周辺住民の方の意見がよかった。
- ・上流の人の参加が少なかった。
- ・“時間が足りなかったこと”
- ・若い人が少ないこと。
- ・女性が少ないこと。
- ・20代の人がいても良いと思う。
- ・もう意見を取り入れるまでもなく、計画決定しているように思えた。

☆ 私がまなんだのは、

- ・水のこと、天ヶ瀬ダム開発に関して、いろいろな方が勉強されている。
- ・天ヶ瀬ダム付近に断層のあること。
- ・本日の意見で、1500t/sについて深く学んだ。
- ・日本海への放流案が大昔からあったという話。
- ・より広い視野での排水（日本海へ出す）などの意見があったこと。
- ・天ヶ瀬ダム、トンネルの場所は地質的にもあまりよくないところにあること。
- ・上流の問題は考えたこともなかった。
- ・天ヶ瀬ダムの安全性について地質面での不安があること。
- ・発電容量の振り替え活用を選択肢とすること。
- ・皆さんの率直な意見を聞いた。



☆ 私にとって、必要だと思ったのは、

- ・いろいろな方とよく話し合うこと。
- ・浸水地の住民の生の声を再度聞くこと。
- ・疑問に思っていること（流域委員会に対する質問事項など）についてより深めること。
- ・“もう少し分かりやすく発言すればよかった。”
- ・1500t放流問題のアピールをもっとするべきだった。

- ・国交省のよりくわしい説明（具体的ではなかった）。
- ・ダムに対する評価の議論特に洪水対策にダムは有効か？
- ・参加者にワークショップをするオリエンテーションを最初にしたほうがより意見が出やすかったかもしれません。
- ・“観光都市として宇治川をもっと重視すべき。”
- ・事業目的からして都道府県負担金の支出は問題である。
- ・国家100年の計に基づき計画実行すべき。



☆その他に、考えたこと、書いておきたいことは、

- ・時間が欲しい。
- ・“琵琶湖の到達点の資料が欲しい。”
- ・s46年淀川工事計画の資料そのものが欲しい。
- ・当初計画にあった「放流トンネル」が基礎原案に明記されておらず、既存施設の活用だけで1500tまで引き上げることができるのかどうか具体的な数値を示して欲しい。
- ・1500t/s問題は、琵琶湖及び宇治川、淀川の流域の土地利用と遊水地確保をセットに考える必要がある。そのために、行政との政策リンクが必要ではないか。
- ・数値についての確認がほしかった。
- ・社会的、行政的問題に踏み込まないと、実際には問題は解決しない（技術的検討だけでは解決しないほど）。それほど問題は複雑かつ深刻である。
- ・具体案（計画案）の問題点についてもう少し話し合えたらと思う。
- ・天ヶ瀬再開事業の事業目的や事業内容が明確に書いてある資料が必要ではないか。
- ・この討論会の結果は計画にどのように反映されるのか？
- ・果たして、みんなの意見が地方整備局にどれだけ取り入れられるのか。



# 傍聴者アンケート

## ★ ご意見・ご感想

- ・各参加者の意見の中で、事実について、もし間違いがあったとき（単純には洗堰の琵琶湖の水位低下の能力など）はやはりその場で訂正する意味でも、説明役、回答役として国土交通省は入るべきである。
- ・公共施設、公共事業でのワークショップ方式がさかんになっているが、事業者が入っていない、住民同士の意見交換のみというのをおかしいのではないか。
- ・対話討論会の目的、ターゲットを明確にした方が良いのでは。
- ・この会で何をやるのか、何をアウトプットするのかを始めるに出すべき。
- ・時間は守ること。
- ・最初、天ヶ瀬再開発の説明の経緯をわかり易い説明してほしい。全くわからなかった。
- ・ふりかえりシートは終わってから討論者に記入してもらう
- ・洗堰の操作規定のただし書き操作を聞いてびっくりし、あきれてしまった。本当に危険になった時にこそ、規定が必要なのではないか、このままでは上流の住民も下流の住民も、何をされるかわからないという不安におびえながら暮らさざるをえないし、何のために琵琶湖河川事務所があるのかという疑問も生じるし、琵琶湖河川事務所がどんな治水計画を立てても賛成できないという気持ちになってしまう  
当面、超過洪水時の危機管理をどうするのか説明してほしい。
- ・昨日の丹生ダムの対話集会は全然だめであったが、今日は傍聴に来たかいはありました。
- ・行政が行っていることが、住民に十分理解されていないようです。理想論者が多い。
- ・討論参加者の皆さんの意見は、大きな点で一致していると思う。
- ・琵琶湖の浸水は100%おさまっていない。これは宇治市民防災会議が滋賀県のいくつかの自治体にアンケート調査をした内容にも出ていた。しかし、浸水そのものはH7年以後、確実に減少してきている。
- ・内水対策の強化はさらに必要。
- ・琵琶湖では、むしろ毎年渇水対策の方が重要では。



- ・自然状況として、川は時には溢れて当然のもの、自然の遊水池が必要だが、宇治市では、この長年、無計画な行政で小倉地区、南戸地区、地域など乱開発・宅地造成を民間業者の言いなりに進めてきた。やっと今、20年先のまちづくりを目指して、今年、市民参加の「マスタープラン・ワークショップ」を実施した。この中で参加市民から、こうした市内の乱開発の問題点が数多く指摘された。宇治市民のこうした意見も国土交通省の近畿整備局としては、十分重視してほしい。
- ・長期間かかっても、琵琶湖の本来の姿、周辺地域の環境、人と自然のふれあいを取り戻すため、新たなダムをつくるのではなく、琵琶湖周辺の山林の整備、内水対策、流域全体での乱開発の防止、等を大きな柱にすえて、取り組むべき。周辺住民もその方向で協力できることは沢山あると思う。
- ・今の塔の島は700ト放流でも、浸水、900トン放流したら宇治橋上流は他の重要な景観は台無し。1500ト放流すれば川底を掘っても危険。観月橋に至るまでの宇治川の左右両岸はかならず危険なことになる。積島地域は今でも漏水している。1500トの放流はリスクが大きすぎる。国土交通省は考え直すべき。
- ・既に今、進めている工事もストップして見なおすべき。
- ・天ヶ瀬ダムの堆砂の状況はどうか？築後40年以上になると思うが、ダム内の土砂堆積を調査し、取り除く工事をしたことはあるのか？一度実施すべきではないか。
- ・上流域（琵琶湖）の状況を情報として出していきたい
- ・天ヶ瀬ダムと関連した大戸川ダムについても、流量配分図等の関係が議論されるように資料を出していきたい。
- ・琵琶湖水位調節のために1500ト/sec放流が有効だとの意見があったが、それは急激な水位低下も激しくするのではないか。浸水より低水位の被害の方が深刻といわれているのに1500ト/sec放流は逆効果ではないか。
- ・水利権の問題がでなかった。
- ・今回はこんなもので良いと思う。次回に期待します。
- ・グループファシリテータは意見をメモするだけでなく、発言の内容をよく聞いて、言いたいことを確認してメモする必要があると思う。
- ・宇治川河床掘削1. 1mの場合塔の川締切必要なく1300m<sup>3</sup>/sなら流れるのでは？
- ・大戸川300m<sup>3</sup>/sが前期放流になるか後期放流になるかは、大戸川ダムの有無によって決まります。（ダム中止なら前期→1200m<sup>3</sup>/s流せば十分）





- 琵琶湖総合開発は沿岸の洪水は減少させたが、ニゴロブナの生態には悪影響とのこと、洪水減少の恩恵を賜り、内水軽減を拡大するのにも、琵琶湖と切り離され流入河川と出入りする内湖が有効と思います。
- 河床掘削は治水対策の中で、最も影響が小さく、効果的です。築堤は内水河川を作ります。土地があれば遊水池をたくさん作るのもある。
- 天井川の治水対策として本川水位低下は有効ですが、塔の川を締切って3m掘削までする必要はない。河床掘削しても新たな生態系を再形成できるように考える方がトンネルより安く、自然にやさしく見えやすいのでは、塔の川締切OKは希少生物で価値を決めることか。



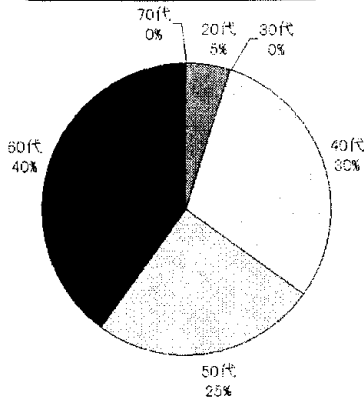
- 討論参加者の意見交換がある程度議論の深まりが見られたが、責任ある議論の場を用意しないで、これ以上の深まりは期待しにくいのではないかと思います。
- 河川管理者側のレクチャーはかなりミスリーディングだと思う。
- 初回であるため、討論者の意見がいろいろあり、また問題点などを記入して、キーワードをまとめて、と言ってるにも関わらず、話すだけの人が出て、進行役は大変だと思いました。
- グループ討論へ参加した人は、3回で、グループの意見が聞け、それで目的は達成されるでしょうが、グループの人は小人数、一般傍聴者はつまらない。
- 討論参加者の外、一般傍聴者からの意見聴取の時間はとれないか。
- 今後もまだ続けて、実施するべきではないか。
- 意見の内容は、概ね、天ヶ瀬ダムの再開発—ダムづくりは反対、疑問の意見の方向が強かったのではないかと。私自身もそう思う。この4月まで、地元市議会に出ているが、議会でも何度もこうした方向で取り上げてきた。しかし、行政側は天ヶ瀬ダム（トンネルダム）は実施の方向の答弁ばかりだった。しかし、今回のワークショップでも明らかなように、参加者—住民の大半は疑問・反対である。現在、宇治川周辺では、開発の方向での工事が進んでいる。国土交通省は、至急に根本から見なおすべきではないか。
- 上流域の意見が少ない。
- 上流域の資料が少ない。
- 新しい住民意見反映の場として大変有益です。
- ポストイト方式に慣れていない世代には、まだ戸惑いがありそうです。
- 上流地域の方の意見がもつと多いことを望みます。
- 自己紹介で終わったような感じがした。
- 参加者にも机があるとありがたいですが。
- こういう手法そのものに興味があります。非常におもしろい次回に期待します。
- もう一方のグループの話しがマイクで聞こえ混乱。
- 興味深い意見をたくさん聞くことができうれしかった。
- 第1回ですが、私が思っていたより、レベルの高い討論となっていたので、良いものと考えます。できれば、自分の意見と他人の意見との違いを述べてもらおうと話し合いが深くなるのではないのでしょうか。

### ★ グループ討論の運営の感想は、

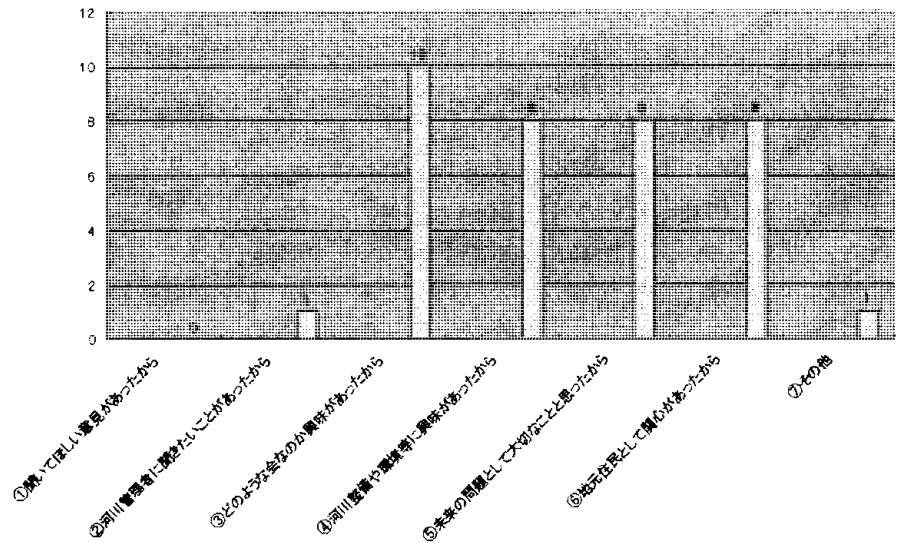
- 意見というか考え方を聞き合うという事が良い方法と感じたが、傍聴者には声が聞こえないという点があり、討論者だけの話と感じました。
- この方法はほんの1部の人の話、考えのみの意見集約となるのでは疑問を感じました。但し、周辺住民が何を考えているのかの意見、考えがよく出ていたと感じました。
- 進め方について、なぜそういうことをするのかという証明が全体としても各個別テーブルの作業でも必要でないか。
- この討論会を数回開催したと言っ、地域住民の意見を聞き取ったといえるのだろうか。
- 天ヶ瀬ダムの再開発原案を全く知りません。これは治水に関するものだけのものでしょうか。
- グループ討論は、面白かったが、別のグループの声が聞こえたり、発言者の声が聞き取りにくかったりした点があった。
- グループと傍聴者との関係については一考の余地があるのでは。ファシリテータが席の周りの人に話をふる、フロアからの発言の時間を設けるなど。
- 情報提供が堅苦しかった。
- 音響設備が悪い。
- 討論の話が聞きづらい。
- なぜ、対話集会が必要か判りづらい。
- 天ヶ瀬ダム上流側の意見をもっと聞きたかった。
- 1500大放流の危険性についての科学的根拠がわからない。
- 土木工学的に考えても危険なのか？クリアできれば放流量を増すことには意義がある。



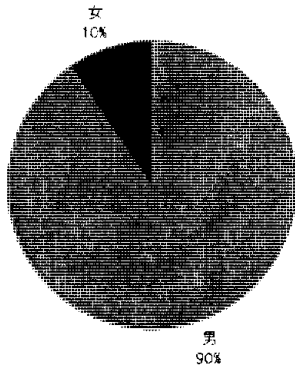
★ 傍聴者 年齢別



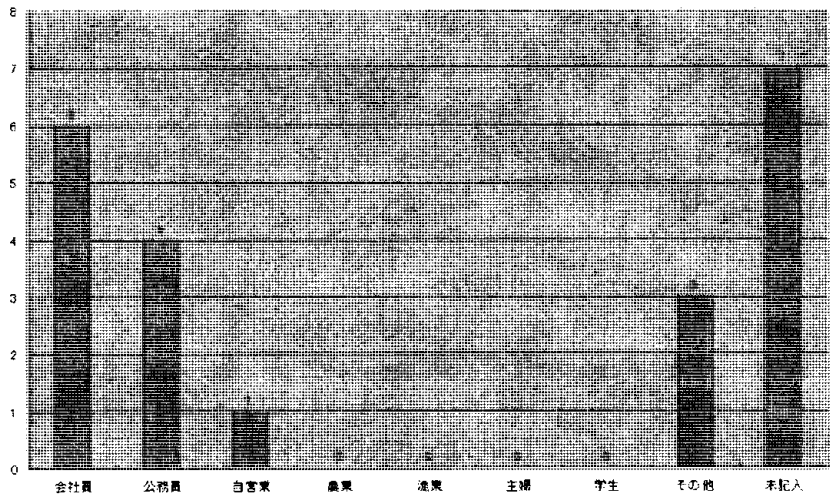
★ 傍聴者 参加動機別



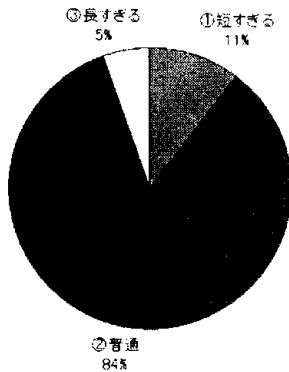
★ 傍聴者 男女別



★ 傍聴者 職業別



★ 傍聴者 討論時間



今後の予定 (対話討論会開催日)

第2回 2004年 1月25日 (日) 13:00~16:00

大津市民会館 小ホール 大津市島の関14-1 TEL 077-525-1234

第3回 2004年 2月8日 (日) 13:00~16:00

宇治市産業会館 多目的ホール 宇治市宇治琵琶45-13 TEL 0774-23-3101

\* アンケートについては、皆様方から頂いたご意見を紙面の関係上、簡略化させて頂いており、また、似ているご意見については、まとめさせて頂いております。

お問い合わせ先

〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-5-1

琵琶湖河川事務所 開発工務課内「天ヶ瀬ダム対話討論会」係

TEL.077-546-0844 (代表)

ホームページアドレス <http://www.biwako.ws/seibi/>